

平成29年度第2回石狩市市民参加制度調査審議会 議事録

日 時 平成30年3月15日(木) 午後6時00分～午後6時40分
場 所 市役所本庁舎3階 庁議室
出席者 林一元会長、酒井一誠副会長、小林恵子委員、大城花子委員、
田中裕紀子委員、田畑博委員、松坂由委員、森本栄樹委員(出席委員8名)
欠席者 工藤義昭委員
事務局 企画経済部長 小鷹雅晴、企画課課長 本間孝之、企画課主幹 水野智之
企画課主任 橋本麻里子、企画課主任 中村淳哉
傍聴者 1名

【林会長】

皆様こんばんは。本日は年度末のお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

平成29年度第2回市民参加制度調査審議会を開催いたします。本日はご存知のとおり、第8次審議会としての答申書の提出がメインテーマになりますので、答申に向けて最終議論になりますので、よろしくご協議、ご意見等いただければと思います。

なお、本日、工藤委員がご都合により欠席となっておりますことをご報告いたします。

皆様のお手元に審議会のレジュメがあるかと思いますが、この内容に沿って進めてまいります、全体的な流れを先にご説明させていただきます。

まず、この審議に入る前に、事務局から答申案について概要を説明していただきます。その説明が終わりましたら、皆様と協議に入りますのでよろしくお願い致します。

協議いただいた後は、事務局と協議内容を反映させた答申案を作成しますので、少々休憩時間をいただくことにいたします。例年ですと、おおよそ10～15分程度の時間をいただいているようですが、修正内容によって変動することがありますので、ご承知いただきたいと思致します。

その後、修正が終わった答申書を再度皆様にご確認いただいて、了解をいただきましたら最終的な答申として私の方から市長代理でおられる小鷹部長に答申書を提出するという事で進めてまいりますので、ご理解いただきたいと思致します。

なお、今回の会議はだいたい19時を目途に終了できるかと思っておりますので、皆様のご協力よろしく願いいたします。流れについては以上となります。

それでは審議に入る前に、事務局からご報告がありましたらよろしくお願い致します。

【事務局(橋本主任)】

それでは、私の方から前回の審議会について、2点報告事項がございます。

まず1点目は、2名の傍聴者よりご意見・ご感想をいただきましたのでご報告いたします。

お一人目です。「若い方が委員に多くよろしいと思しました。」次にお二人目です。「平成28年度

審議会の振り返りの意見を出しやすくする工夫については、実施したことを記載しているので、その結果についても把握しておくことが必要だと思います。質問のあった登録者数は、増やすための工夫をしたのですから、その結果も記載したらいいと思います。」

今のご意見の中にありました、質問のあった登録者数というのは、メール配信サービスのことで、こちらは前回の審議会で、田畑委員よりメール配信サービスの登録状況についてご質問いただいた件のことです。

2点目の報告事項は、この登録状況についてです。こちらは前回、議事録を送付した際に、案内文書に記載して回答しておりましたが、改めてご報告させていただきます。

市民参加情報のメール配信サービスの登録件数は、平成27年10月時点は171件、平成28年10月時点は31件増の202件、平成29年10月時点は78件増の280件でした。なお、広報いしかりのメール配信サービスの案内記事は29年4月号で掲載しましたので、増加数が前年の31件から78件の約2倍に増加したことから、一定の効果があつたと思われまふ。報告事項は以上です。

【林会長】

はい、ご報告ありがとうございます。それでは議事に入りたいと思います。答申案について、事務局よりご説明よろしくお願ひします。

【事務局（水野主幹）】

それでは、私から答申案のご説明をいたします。2ページ目の資料1は、これまでご議論いただいた内容をもとに、会長と相談させていただきながら、事務局でまとめた答申案です。

2月上旬、日程調整の際に送付した答申案に対して、これまで委員の皆様から特に修正等のご意見はございませんでしたので、事前送付したもののから内容の変更はございません。ただ、「てにをは」など、軽微な修正を行いましたので、本日改めてお配りしております。

それでは、内容のご説明をいたします。

まず、2ページ目の1. 市民参加手続の実施運用状況の評価についてです。こちらには、平成27年度と28年度の実施状況についての評価を記載しています。これまで、平成28年度と29年度の第1回審議会において、「パブリックコメントの実施状況」や「審議会の開催状況」など、前年度の実施運用状況について事務局よりご報告した上でご議論いただきました。その結果、平成28年度において1件の委員会開催案内の周知漏れがありましたが、この他には特に不備をご指摘いただいた案件はなかったことから、「概ね適正に実施されていた」という評価をいただきましたので、その様に記載しております。

また、市民参加への参加手段としては、説明会の開催や回覧板、広報誌による周知など、対象に合わせた周知方法が有効であった点、そして、子ども中心のワークショップ開催では、まちづくりに参加した経験が、今後、子どもたちが様々な場面に参加したり、意見を表明したりする道筋になるなどの、新たな効果について記載しています。

次に、3 ページ目の 2. 市民参加制度をより良い内容とするための改善方策における (1) 市民参加制度の推進についてです。前段には、市民参加制度の重要性、審議会での出された提案、ここでは、「ぼぼらーと」にパブリックコメントの資料を置いたり、メール配信サービスの登録者数を増やすため、広報にQRコードをつけて周知したことなどの提案に対応したことへの評価、今後の期待を総括的に記載しております。

次に、①市民参加制度の周知方法と②意見を出しやすくする工夫について、これまでの審議会が出されたご意見をもとにまとめ、結びに、いずれの手法においても形式にとらわれず、幅広い世代が意見を出す場に参加しやすい、参加してみたいと思う仕組みづくりに期待するとしています。

続きまして4 ページの (2) 市民参加制度調査審議会のあり方についてです。はじめに、本審議会に関わる「市民の声を活かす条例」のうち、委員構成についての説明と、委員数が当初の15人体制から、概ね軌道に乗ったこともあり、段階を経て9人体制になったことを述べています。前回の審議会において、現9人体制を維持しながら、その中でも一般公募の委員が意見を出しにくくならないように、他委員の人数を下回ることなく委員を構成することが適当であるとし、その上で、本制度の改正が必要になるような、重要な審議を行う場合については、本条例における最大15人を上回らない人数において増やすなどの措置が適当と述べています。

答申案についてのご説明は以上です。よろしくお願いたします。

【林会長】

はい、ありがとうございました。ただいま、事務局から答申案について、皆様だいたい目を通していただいておりますが、何か新たに表現や内容、項目の変更など、そういったことを含めて付け加えるところがありましたら、ご意見お願いします。だいぶ前に目を通されてますので、少し記憶も薄れているかもしれません。2～3分時間を置きますので、目を通していただいて、ご意見がありましたらよろしくお願いたします。

それでは、2 ページ目の 1. 市民参加手続の実施状況の評価についての (1) 27年度、28年度実施状況について、何かご意見ございませんでしょうか。よろしければ次の3 ページ目に入りますが、よろしいでしょうか。

< 「はい」 の声 >

【林会長】

ありがとうございます。それでは3 ページ目の 2. 市民参加制度をより良い内容とするための改善方策の中の (1) 市民参加制度の推進についてです。この内容について何かご意見ありましたらお願いたします。よろしいですか。ご意見ございませんね。

< 「はい」 の声 >

【林会長】

では、こちらも修正点はありませんということで。

次に4ページの(2)市民参加制度調査審議会のあり方についてです。この内容についてご意見ありますでしょうか。本来15人体制のものを、現行実施されている9人体制でよろしいのではないのでしょうか、という内容ですが、こちらも問題ありませんね。修正点がないということでよろしいですね。

<「はい」の声>

【林会長】

それでは修正点はないということで、このまま答申してよろしいですね。

<「はい」の声>

【林会長】

ありがとうございます。それでは、修正はありませんが、日付など打ち込む時間が必要ということで、5分程度の休憩時間をとらせていただきます。

～ 休 憩 ～

【林会長】～署名捺印～

それでは第8次市民参加制度調査審議会の答申をお渡しいたしますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

【事務局(小鷹部長)】

ありがとうございます。

私から一言。確かに今、承りました。また、この皆様におかれましては、2年間に渡りまして、本当に闊達なご意見をいただきましたことを改めて御礼申し上げたいと思います。ご存知のとおり、今、皆様からお話ありましたように、石狩市は本当に市民力が強い町だなと認識してございまして、市民主権、市民協働を基本として市の政策のど真ん中において、今までも政策を展開してきたと考えてございます。

皆様におかれましては、今後におきましても様々な形で市政にご協力、ご指導をいただければと思います。本当に2年間どうもありがとうございました。

【林会長】

どうも2年間ありがとうございました。最初の会議のときにもお話ししましたが、一応会長という形でお引き受けしたんですが、特別能力持ってるわけでもないし、経験を持ってるわけではありません。一応、学識経験者という肩書きでここへ座ったのですが、この会議でもお話ししましたが、最初本当に思ったのは、この会をいかに活性化していろんな意見を皆さんに出していただくかということでした。なんせ初めての経験で、どういう雰囲気の会議かもわかりませんし、お通夜になっては一番困りますので、そこが一番心配でした。

ですから、もしこの会議で意見が出なかった場合には、こういう内容でこちらのほうから、題材なり話すきっかけをと思っていろいろ用意してきました。ところが、それは全く必要ありませんでした。皆さんのおかげです。感謝申し上げます。皆さんからもお話がありましたけど、部長からもお話がありましたけど、非常に闊達な意見を出していただきまして、本当に助かりました。答申も非常に立派な答申だと、自画自賛かもしれませんがそんなふうに感じています。

先ほど部長からもお話がありましたけど、市長とお話した時に、他から来た市町村の方に話をすると、どういうお話をされたか前段階はわかりませんが、非常に市民が生き生きしたように感じると。どういうふうな場面で感じたのかわかりません。市長がおっしゃるのは、石狩市の良いところは市民力と、部長もおっしゃってましたけども、そういうものだろうと。皆さんの力を借りてよろしく願います、というお話をお聞きしました。まさにそれなんだろうと。委員の皆さんからも多々意見が出ておりました。

本当に勉強になりましたし、今後もまた私も含めて何か機会があろうかと思いますが、そのときには私も含めて、皆さんお力添えいただければと思います。せっかく石狩市に住んでおりますので、そういう形で何かご協力できることがあればと思います。

私は、石狩市民カレッジ運営委員会の委員長をしております。石狩市のカレッジですので、いろんな市のこととか、あるいは全体的な生涯教育のためのいろんな講座を開いております。どこかで目にされましたら、皆さんお忙しいので、講義を受けてくださいと大きな声で言えませんが、こんなことやっているんだ、ということでもよろしいので、ぜひご関心持っていただいて、カレッジのほうのご支援いただければと。そういう形でもし興味がありましたら、講義を受けていただけると最高なんですけど、そんな形でまた皆さんと顔を合わせる機会があるかと思いますが、カレッジのほうもよろしく願います。本当に2年間、どうもありがとうございました。

平成30年3月30日 議事録確定

石狩市市民参加制度調査審議会
会 長 林 一 元
